

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

Dogushi

胴串 -どぐし-

Summer 2014

Vol.6

特集

突撃!! 人形劇のゲ・ン・バ スペシャル



制作：FAO法人いいた人形劇センター
発行：2014年7月発行
発行：人形劇のまち飯田運営協議会
TEL.050-3583-3594 FAX.050-3583-3594 E-mail: itada-puppet-center@nits-jansor.jp

掲示板 いいた人形劇センター からのお知らせ

受講者募集!!

こま撮りアニメーション・ パーフェクトコース

こま撮りの手法を使って南信州をPRする30秒から1分のCM映像を撮影する「こま撮りアニメーション・パーフェクトコース」を開講します。

NHKのキャラクター「どーもくん」や「こまねこ」を手掛けるドワーフの代表でアニメーション作家の合田経郎さん、アニメーターの峰岸裕和さんらを講師に、ストーリー作りから撮影や美術プラン、美術制作、撮影、音入れ、編集作業まで、映像制作過程のすべてを体験します。

日程：8月24日～2015年3月
対象：高校生以上
料金：大人5,000円、高校生無料
問合せ：いいた人形劇センター
TEL.050-3583-3594

Dogushi

並木 さんぽ

7月初旬、飯田市内のホームセンターで人形劇制作に必要な「Gボンド」が欠品していると聞き、フェスタが近いから?と勝手に想像して店へ。「人形劇のせいでしょうか?飯田店だけですか?」と矢継ぎ早に尋ねたら、店長さん「関係ないと思います」と、つれない返事。「この時期、この地域は、この商品が大量に店に並ぶ。なぜなら人形劇のまち飯田、だから」と、季節ニュースになる日が来るといいなあ。次号は10月発行予定です。(帆)

表紙イラスト：井原千代子



View of IIDA

いいた人形劇フェスタの期間中、飯田市公民館前の広場を彩る花壇「フラワーガーデン」に向けて、下伊那農業高校園芸科3年草花専攻の11人は2,000株の花の手入れに大忙し。「花壇を見て笑顔になってくれたらうれしい」と、愛情込めて育てています。どんな花壇になるか楽しみです。フェスタ最終日には花壇で使用した花の販売もあるそうですよ。

わかる!! 人形劇 用語

『ユニマ・日本ユニマ』

ユニマ(UNIMA)は、UNION INTERNATIONALE DE LA MARIONNETTE(国際人形劇連盟)の略称。これはラテン語とのこと。英語読みだとユニマとなりますね。80カ国以上にナショナルセンターがあり、日本ユニマは日本のセンターで、現在NPO法人化に向けて申請をして

いるところ。きつと一万回くらいは言われていると思いますが、「日本ウマ煮」ではありませんので、あしからず。ユニマは、人種国家社会体制・民族・国籍・宗教・芸術傾向の違いにかかわらず、人形劇芸術にたずさわる全世界の人々が人形劇芸術を通して、平和と国民相互の理解に貢献するために自発的に集まった組織で1929年に設立。1992年には、ユネスコのNGOカテゴリーICの国際団体として認定されました。飯田市の友好都市であるフラ



ンスのシャルビル・メジェールに本部が置かれています。夏季オリンピックのある年に、世界のどこかで総会とフェスティバルが開かれます。第15回大会は飯田で行われました。次回開催は2016年5月、スペインのトロローサとサンセバスチャンです。ぜひ會員になって、一緒にスペインに行きましょうね。
(人形芝居飯屋くすのき燕)

特集

突撃!!

人形劇のゲ・ン・バ スペシャル

毎年夏に日本で最大規模の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が開催される飯田市。「人形劇のまち」といわれて久しいですが、さらに「人形劇のまち飯田」を盛り上げよう、「人形劇のまち飯田」といわれるからこそやってみよう、と子どもから大人まで幅広い年齢層の人たちによってさまざまな取り組みがなされています。さっそくそれぞれの「ゲンバ」をおさえるべく、ワークショップが行われている会場や飯田市内の小学校へ直行しました!



週一回の講座を楽しみに、毎回ほぼ全員が参加。チームワークよく作業を分担して人形がどんどん仕上がります



最初は戸惑っていたウレタンの人形作りも回を重ねるごとに上達しています



台詞一つにも子どもたちにとどく伝わるかを考え、台本作りに進みます

小中学校人形劇

子どもたちも
フェスタで
元気に上演

飯田市の小中学校では授業や部活動で人形劇に取り組めます。現代人形劇だけでなく、地域に伝わる伝統人形芝居を学ぶ子どもたちも。山本小学校を訪ねると3年1組の児童が蹴込みを立て、自分で作った人形を手に練習の真っ最中です。1クラス30人が15人ずつに分かれて1作品を上演するそうで、写真は「あわてうさぎといぬむりライオン」を練習するチーム。「本番までにやることいっぱい」と指導にあたる今村幸子先生ですが、きっと全員で力を合わせ素晴らしい上演になるはず。期待しましょう。



いいだ人形劇フェスタの上演に向け、暑い中繰り返し行われる練習にも一生懸命です

人形劇初級講座

人形の作り方
から演技まで
実践で学ぶ

人形劇を始めたいけれど何から手を付けてよいかわからない、という初心者のための初級講座が5月から開催されています。飯田市内の幼稚園にお子さんが通うお母さんたちの劇団10人が参加して講座がスタート。上演する作品を「おたまじゃくしの101ちゃん」に決め、登場する人形は何がいくつ必要で大きさはどうか、背景や台本は、とそれぞれに得意分野で役割分担。

「教えていただくことに毎回新たな発見があり、週一回の講座がとっても待ち遠しくて」と代表の友竹真奈美さん。来年1月に行われる幼稚園の発表会でお披露目しますが、今からお子さんや先生方に「期待している」と伝えているそう。そんなお母さんたちの思いは人形劇を通して子どもたちに伝わるはず。上演が楽しみですですね。



絵本を見ながら背景のイメージを描きます

人形劇の相談所

悩みごとはお気軽に
どうぞ

人形劇の制作に取り組む市民を対象に5月・6月に開催されたよろず相談所。遣い手にあわせて人形劇の作り方はもちろん、素材選びやからくりの作り方、大道具・小道具、さらには効果的な演出まで、個々のさまざまな悩みにプロの丁寧なアドバイスがもらえると評判です。「思うように人形が作れず、困り果てていたので助かった」「人形と演出をもうひと工夫したくて相談したらパツと解決。さらにアイデアが浮かび意欲がわいてきた」と、相談所を利用した皆さんの声を聞くことができました。



昨年、相談所を利用して講師のアドバイスを元に一年かけてつくった作品を上演。人形の動きや表情の見せ方、道具の使い方など再びアドバイスを受けました



人形制作に奮闘中!

一年以上かけて
取り組む壮大な
プロジェクト

人形それぞれの型紙に合せて粘土で頭と胴をモデリング。石膏で型をとった後、張りで仕上げます

人形劇ワークショップ「人魚姫」

昨年11月から飯田下伊那在住の20人が、演出家・くすのき燕さん、人形美術家・吉澤亜由美さんとともに人形劇「人魚姫」の制作に取り組んでいます。参加者全員のコミュニケーションを図るため、お互いの表現を即興で感じ取るインプロビゼーションから講座はスタート。人形の操作方法を学ぶ三人遣いの体験に続き、舞台照明の効果を学び、舞台装置の模型を作ってイメージを広げ、3月から人形制作に取り掛かりました。「限られた時間の中で数多くの人形を作るのはなかなか難しいですが、皆さんよく頑張っています」と吉澤亜由美さん。

6月下旬には台本の第一稿が完成。「市民のみんなと一緒にこれだけの時間をかけて人形劇をつくれるチャンスは今後ないかもしれない。そう思うと力が入ります」と話すくすのき燕さん。台本に込めた思いを参加者に伝えながら、台本読みが行われました。

来年3月の初演が決定し、行程は着々とすすんでいますが、まだまだやることは山積のよう。10月からの稽古に向けて人形制作に打ち込む日々が続きます。



くすのき燕さん(写真中央)が場面ごとの解説をしながら、役を交替して台本を読みます



人形の胴に布を付け、人魚の動きが表現できるか試作中

今大人形座の指導で伝統人形芝居の三人遣いを体験。主遣い、左遣い、足遣いの三人の呼吸を合わせるのは至難の業。「思うように人形が動かせない」「手足がづらい」といながらも真剣に指導を受けました



三人遣いに挑戦!



即興表現に挑戦!

ましゅ&Keiが講師となり、その場の状況を瞬時に判断して相手へ自分の思いを伝える即興表現(インプロビゼーション)を体験しました

トピックス ニュース 1 「しまい、出張講座in岐阜」

ダンボールで獅子頭を作るワークショップが7月5日、岐阜県のドリームシアター岐阜で開催されました。昨年、飯田市と災害時の相互応援協定を結んだ岐阜市が「交流を深めたい」と企画。「わたちゃん、こと、獅子を舞う男・後藤渉さん(飯田市)が講師に招かれ、岐阜市内の児童18人が参加しました。講師を務めた後藤さんは「お祭りで獅子舞を見る機会が少ないようで、子どもたちは最初から興味津々。獅子頭作りから、舞の練習・発表までみんな目をキラキラさせて取り組んでくれたのが印象的でした」と充実した出張講座の様子を報告してくれました。



いいだ人形劇センター主催「わたちゃんのダンボールしまいワークショップ」は9月から始まります。大勢のご参加をお待ちしています!

後藤さんが考案したダンボールのしまいキットを使用し、赤や黄の絵の具で色付け。目を書き入れ、耳を付けば完成です



参加者全員で作った獅子頭を持ち、ステージで元気いっぱいに獅子舞を披露しました

トピックス ニュース 2 飯田から始まるアートプロジェクト

チェコを拠点に世界で活躍する人形劇師・沢 則行を講師に迎え、人形美術や舞台美術におけるデザインの考え方を学ぶ講座「沢 則行フィギュアシアター・デザインコース」が開講します。期間は8月から来年3月までの7カ月。人形劇や舞台のスケッチ、図面、模型を制作し、展示&プレゼンを行います。講座の様子は見学も可能です。



トピックス ニュース 3 「笑い、にクローズアップ」

いいだ人形劇フェスタ2014の自主企画として、いいだ人形劇センターがパネルディスカッションを行います。テーマは「パペットエンターテインメント・人形劇の笑いを通して考える」。多方面で活躍する4名をパネリストに迎え、人形劇の魅力エンターテインメントの切り口から語っていただきます。ぜひご参加ください。

- 日時 / 8月8日(金) 15:30~17:30
- 会場 / 川本喜八郎人形美術館映像ホール
- パネリスト
沢 則行(人形劇師)
大野 正雄(人形劇むすび座 人形劇俳優・演出)
来住野正雄(人形劇ひとみ座 人形劇俳優)
Kei(道化師)
- コーディネーター
高松 和子(いいだ人形劇センター理事長)

朧 人形たちのカーニバル

宇野小四郎「人形劇研究者」

「慌てる乞食はもらいが少ない」

飯田とウニマの出会いといえば、カーニバルの始まる二年ほど前にウニマの総会だか、伝統人形芝居の勉強会を開くとやらの世話を飯田市にお願いしたことで始まったのだという。しかし両者の初顔合わせは拍子抜けするような素っ気ないものだったらしい。ウニマを迎えた飯田の側は、全国組織の総会というから期待したら、訝えない連中が三十人足らずの集会で、折角出したクルミ入り味噌ダレの五平餅も持て余し気味の様子だった。ウニマの連中はというと、「東京から六時間もかかったぜ。遠いよう」というのが大方の感想だったようで、五平餅を斜に見ながら、「飯田の人ってマックのパーカーは食べないの」なんて思っていた。

この時代は日本人に飛行機に乗るとい



宇野小四郎
人形劇団ひとみ座創立メンバーで、(公財)現代人形劇センター元理事長。現在、銀の鈴舎主宰。人形劇の上演・演出・出版事業等、多岐にわたり活躍している。

癖が付き始めた頃で、その上運賃も鉄道より飛行機の方が安くなってきていた。東京から北海道、あるいは九州まで行くのに二時間というのが、この時代に定着しつつあった。その中で飯田という場所に対する価値観は、やつてくるそれぞれの人たちによって決定された。「六時間もかかるの、いいじゃない。」という人と、「六時間もかなわん。」という価値観の違い。その後高速道路の利用や高速バス等の運行で四時間になったが、この関係に然したる変化は無かった。

このことは二十世紀社会の日本における時空問題であった。ところが、この関係は21世紀にリニアモーターカーの開通によって大きく変化することになるだろう。

(つづく)

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から⑥

人形劇カーニバル飯田が1979年にはじまり、35年が経ちその様相も変わりつつあるが、今や歴史となった当初の10年を記録した323頁の貴重な1冊だ。その10年目の1988年はUNIMA大会が名古屋で初めて欧米を離れて開催され、世界人形劇フェスの開催を担った飯田はIIDAとして世界へ羽ばたいた。飯田が人形劇に対する感覚を飛躍的にひろげたのはこれ以降のことだと思う。座談会や記録はどちらも手作り感にあふれ、なかでも会期中毎日発行された「とってもいいだNews」などは、参加者と市民の熱気が素朴に伝わるものであった。まさに次世代のいいだフェスタに向かおうという今、こうした記録を読み解くことも必要といえるのではないだろうか。

(人形劇の図書館 館長・湯見英明)



「人形たちがやってくる」人形劇カーニバル飯田10周年記念誌
人形劇カーニバル飯田実行委員会発行 1990年

わくわく イベントスケジュール

- 8 AUG** いいだ人形劇フェスタ2014
8月5日(火)~10日(日)「特集 人形劇 北海道フェア」
- 8月24日(日)** こま撮りアニメーション・パーフェクトコース
会場 / 川本喜八郎人形美術館ほか
- 9 SEP** わたちゃんのダンボールしまいワークショップ
頭作り 9月7日(日)・13日(土)・21日(日)
舞練習 10月4日(土)・5日(日)・18日(土)
会場 / 川本喜八郎人形美術館エントランス前
ダンボールで獅子頭を作り、獅子舞を練習。10月19日(日)獅子舞フェスティバル創作獅子舞コンクールに出場します
- 秋の夜長を楽しむ人形劇公演
9月下旬予定
秋の夜長にじっくりと楽しむ大人向け公演

- 10 OCT** 秋の人形劇まつり
10月11日(土)~13日(日) 会場 / 飯田人形劇場ほか
出演 / フィリップ・サーモント(仏)、人形劇・トロッコ、トモキチ劇場、なにぬの屋
フランス、日本で活躍する一人芝居の特集公演
10月下旬 会場 / 未定
出演 / 沖縄人形劇団かじまやあ
- 人形劇ワークショップ「人魚姫」
昨年11月から飯田下伊那在住の市民20人と、演出家・くすのき燕、人形美術家・吉澤亜由美と一緒に人形劇を制作中。
- 沢 則行フィギュアシアター・デザインコース
チェコを拠点に活躍する人形劇師・沢 則行を講師に、舞台美術・人形美術のデザインについて学び実践する講座。
8月2日よりスタート。

いいだ再発見

「感謝の意を込めて」の巻



今年はいいだ人形劇フェスタに10回以上上演参加した11劇団へ顕彰旗が贈られます

いいだ人形劇フェスタの期間中、飯田文化会館前ではためく色とりどりののぼり旗。それぞれに人形劇団の名称が印刷されています。これ、何かご存じですか。毎年人形劇を観ている方なら察しがつくはず…。そう、いいだ人形劇フェスタに10回以上上演参加した劇団へ、実行委員会が感謝の意を込めて贈った顕彰旗なのです。



飯田駅横のアイパークにある顕彰碑。「人形劇カーニバル飯田」から「いいだ人形劇フェスタ」までに渡り、長年私たちを楽しませてくれるおなじみの劇団がずらりと並びます

10回以上の上演参加をした劇団に対して感謝の意を表し、永く顕彰していくため、劇団自らに描いてもらったパネルを顕彰碑として展示しました。現在、飯田駅横のアイパークには「あたたかいころをありがとう」の言葉とともに、60以上の顕彰碑が並んでいます。

時は流れ、感謝の意を伝えるカタチは顕彰碑から顕彰旗へと変わりましたが、「いいだ人形劇フェスタ」へ寄せてくれる劇団の思いはきっと変わらないはず。これらをじっくり眺めてみるのも、フェスタの楽しみ方の一つかもしれません。

正面の蹴込み下にモニターを置かないことがあります。背中の方やよつと設置するスペースが有るので、据えたモニターを目の前の高さに下げた手鏡に映して仕事を終えました。もともと上手下手が引つ繰り返った画像を、また、今一度引つ繰り返したものの、元に戻るわけのものでは無いのです。モニターの中には奇天烈不可思議な世界が広がって精神が惑乱しました。



平均年齢72歳。「遠山☆きらり」のみなさん。8月8日(金)17:30～南信濃地域交流センターで、和田小学校4年生とよろず劇場とんがらしとのジョイント公演が行われます

遠山☆きらり

もう一度「きらり」と輝きたい、と飯田市南信濃のおいしいちゃん、おばあちゃんたちが2年前に結成した「遠山☆きらり」。みなさんが暮らす遠山郷の民話を題材に脚本を作り、人形劇を上演しています。



台詞の言い回し、人形の動き、効果音のタイミングなど意見を出し合いながらの稽古。本番に向け、熱が入ります

かつて当地を治めていた遠山土佐守の娘・藤姫のお話です。6月にはすでに人形や大道具・小道具が完成し、台本を持ちながらではあるものの本番さながらの稽古が始まりました。「なにしろ台詞を覚えるのが大変でね」と皆さん口をそろえますが、遠山川の堤防を散歩しながら、お風呂につきながら、食事を作りながら…と、それぞれの方法で台詞を覚える自主トレーニングをしているそう。なかには遠山川に向かって発声練習に励むメンバーも。

舞台の人形劇も映像の人形劇も、落ちていく俯瞰すれば、仕事の上では変わりがないけれど、実際に映画、CM、TVの人形劇をやってみないことには解しないかも知れない。また、仕事を進める上で舞台とは違う要領や決まり事もあるので、それらを飲み込んだ後に仕事成り立ちます。慣れる事に暫く時間が掛かるでしょう。

例えばTV局の人形劇では、操っている自分の人形を直接、上に見ながら演技をすることは殆んどしません。蹴込みの下にめぐらす複数のモニターで、それぞれの演者が、台本のカット割りに従って推移する画像を見ながら客観的に芝居をしています。首のワンショット、もつと迫って小さな目玉一個のアップまで台本に指示されているので、その時に映されているTV画面を見ながら各々が確認と制御を経た演技をしています。微妙なうなずきの角度、差し上げ

劇人協会通信

映像と人形・人形劇その2

日本人形劇人協会
理事長 大江健司

日本人形劇人協会
舞台や映像番組で活躍している実演家と人形劇に係わる仕事を職業とする専門人形劇人の組織。人形劇人相互の親睦交流、活動条件の改善と社会的芸術的地位の向上をはかることを目的に1967年に設立されました。